

当院を受診された患者さんへ

当院では、下記の研究に情報の提供のみを行う機関として、対象者の方の診療情報を提供します。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内で閲覧することができますのでお申し出ください。

この研究は、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の治験・臨床研究審査委員会で審査され、病院長の許可を得て実施しています。また、情報の提供については当院院長の許可を得ています。

研究課題名	腎移植後患者の筋肉量・脂肪量とその推移が予後に及ぼす影響についての研究
研究実施期間	2026 年 4 月 3 日 ～ 2030 年 12 月 31 日
対象となる方	2008 年 3 月 1 日～ 2021 年 12 月 31 日に、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院移植外科において、生体/献腎移植術を受けた方
研究責任者	所属：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 移植内科 氏名：平光 高久
研究の意義・目的	慢性腎臓病患者さんでは 20-50%に筋力、筋肉量や身体機能の低下を合併していると報告されています。その原因は加齢や運動不足などの一般的な原因に加えて、慢性炎症、腎不全による老廃物の蓄積などが関与しているとされています。また低筋肉量は慢性腎臓病患者さん、腎移植患者さんについても予後を悪化させることが知られています。これまで筋肉量の評価にはレントゲンや体組成計を用いた方法が用いられていましたが、近年では CT 検査により筋肉量を測定する方法が有効と報告されてきています。腎移植患者さんの高齢化も近年見られており、筋肉量や脂肪量の評価を行うことで筋肉量や脂肪量の推移が移植後の合併症とどのように関連しているか、さらには予後を予測することができるか検討します。そしていずれは適切なりハビリなどにより予後を改善することに繋げていくことを目的としています。
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、日常の診療で得られたデータを収集し、統計学的に検討します。
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、個人を直ちに特定できるような情報とは切り離した状態で使用します。（年齢、体重、性別等の基本情報、腎移植術の情報、血液検査結果、C T 画像検査による筋肉量等）

結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報等は、将来、本研究に関連する別の研究のために利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画について別途倫理審査を受け、承認を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
診療情報提供不可のお申し出先、お問い合わせ先	施設名：医療法人衆済会 増子記念病院 担当者：移植外科 打田 和治 住所：〒453-8566 愛知県名古屋市中村区竹橋町 35-28 電話：052-451-1307（代表）